三笠産業ニュース

発行所
東京都千代田区猿楽町 1-4-3
三笠産業株式會社
電話 東京03(292)1411 大代表
テレックス 222～4607
郵便番号 101番
PR旬報　年4回発行

44年度

新製品発表

コンクリートブレーカー 油圧式

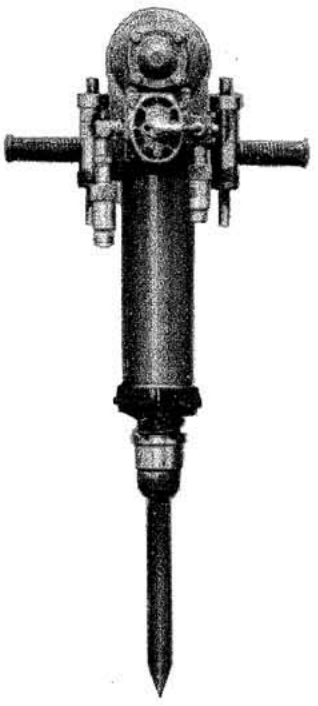
特許申請中

コンクリートブレーカーの生れるまで

弊社は、かってコンクリートジャンパー（コンクリート穴開機）を開発した際、これにヒントを得て、更にコンクリートブレーカーを開発すべく努力してみましたが遂に完成するに至りませんでした。しかしこのコンクリートジャンパーは、やがてタンピングランマーを開発する上に大変役立って呉れましたので、寧ろ今にして思えば、一足先にタンピングランマーの完成を見たことが幸いであったとさえ思っております。

しかしコンクリートブレーカーの研究は、その後も決して手を緩めていたわけではなく、或はモーターブレーカーを或はエンジンブレーカーを次々と試作して一日も早くこれが完成を見たいものとあらゆる研究と実験とを重ねて参りましたが、仲々思うようなものが出来上らず今日に至りました。この間タンピングランマーを多用化して、これを万能土木機とし、その用途の中に辛うじてコンクリートブレーカーとしての利用面を一応取上げては見ましたが決して満足したものではありませんでした。

昨秋春日部に弊社の技術研究所が設立され、これが発足と同時に懸案のコンクリートブレーカーがその第一目標に取り上げられたことは申すまでもございません。その後三笠技研の全スタッフを動員して、これが開発に努力した結果、漸くここに、わが業界としては最初の油圧式コンクリートブレーカーの出現を見るに至った次第でございます。



油圧式 コンクリートブレーカーの特徴に就て

（七月下旬予定）

本機は油圧で駆動するブレーカー（サク岩機）で小型軽量に作られていて、その破砕力は一五馬力エアブレーカーに匹敵します。

油圧式であるため騒音が少なく夜間作業や市街地の作業には最適です。

排気がないので挨りの発生が少なくトンネルや地下室等の工事に向いており、オペレーターには害を及ぼしません。

持ち運びに不便な工事現場へでも担いて持って行く事が出来ますので多目的に使用出来ます。

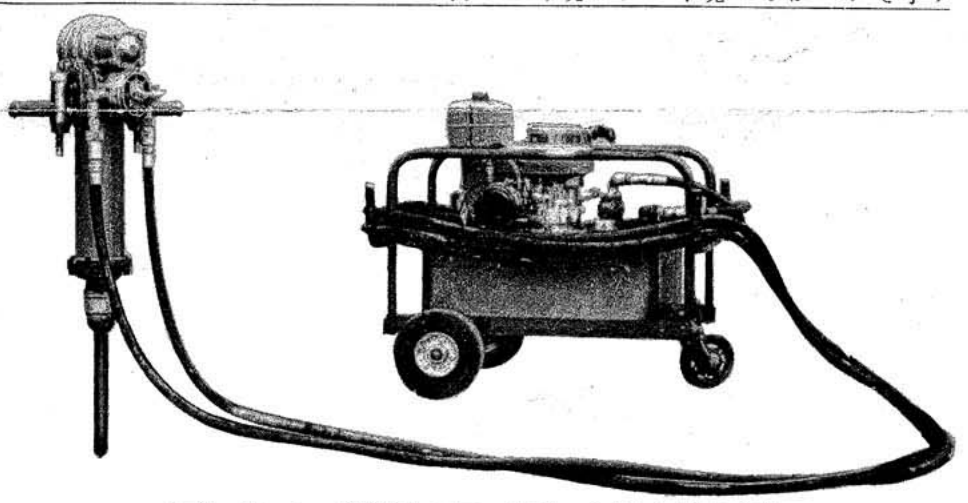
ブレーカーヘッドには簡潔で効率の良いオイルモーターが取付けられ、すぐれた耐久性をもっていますから故障の心配がありません。

打撃構造はこれ又簡潔ですべて特殊鋼を使用し頑丈に作られ、分解が簡単です。

消耗部品がありませんので経費の節減になり長期間に亘って常に最高の能力を維持する事が出来ます。

油圧パワーユニットについているエンジンには特殊なサイレンサーが取付けてあるため七メートル離れたところで七十五ホーンの騒音を示しております。

油圧ホースは、パワーユニットに輪にして乗せられるようにしてありますから、移動する場合に大変御便利です。



（ブレーカーヘッドがパワーユニットにセットされた本機の全容）

仕様

ブレーカーヘッドの寸法	
高サ	750m/m
横巾	240m/m
正面巾（ハンドルを含む）	450m/m
ツールシヤンク	外径35φm/m×88m/m
重量（ツールピットを除く）	32kg
打撃数	1,200～1,300Blow/min
オイル吐出量	28～30ℓ/min
圧力	60kg/cm²
油圧モーターの出力	4 HP
パワーユニットの寸法	
高サ	770m/m
巾	660m/m
長サ	800m/m
重量	85kg（オイルを除く）
油量	50ℓ
差動油（タービン油）	#90
油圧ホース	内径15.8φm/m×7m/m
エンジン	
富士重工製2サイクルガソリンエンジン	EC 16V
出力	8 ps 5,000r.p.m
タンク容量	3.5ℓ

MVCS＝2S型 新製品 新型バイブロコンパクター 完成

今までわが社のMVCS＝2型バイブロコンパクターは、輾圧力に主きを置いて造っておりましたので、輾圧効果はこの種小型バイブロコンパクターとしては、最高のものとして永らく御好評をいただいて参りました。ところが最近より一層輾圧力のある3A型が開発されましたため小型輾圧機としては、寧ろ輾圧効果よりも作業の能率化を計るため走行スピードのより以上速いものをご要求されるようになってきました。そこで今までの2型に代って軽量でスピーディな走行力を持つ新2S型が開発され六月より発売することになった次第です。

しかし輾圧機である以上、輾圧効果のないものは、コンパクターとしてのイメージを失うことになりますので、弊社は特にこの点を重視し、輾圧力を従来のものと余り変らないものにした上、自走力を毎分二〇米に高速化しましたので必ずや皆様の御要望にお添い出来るものと確信致しております。何卒旧2型同様引続きご採用下さるようお願い申し上げます。

特に輾圧力の強いものを御希望さるる場合は、MVCS＝3A型バイブロコンパクター又はMTR＝80型タンピングランマーをお勧め致します。

尚これを機会に旧2型機は製作を中止致しましたからご諒承願います。多年にわたり御愛用を賜りましたことを深く御礼申し上げます。

○特徴

(1)一軸偏心高振動微振方式で、重量を僅か四〇キロに押えてあるので軽快で取扱い易く、アスファルト・コンクリート、砂、砕石等の表層仕上げをしたり土盛りした法面（傾斜）仕上げなどにも最適である。

(2)高速振動であるため毎分二〇米の自走力が出るので極めて能率的である。

(3)エンジンは三菱重工の2サイクル、2PSメイキガソリンエンジンを使用し、特に気化器は特殊な加工を施したものが組み込まれてあるので、今までこの種のコンパクターで起っていたエンジンによる不調を見事解決することが出来た。

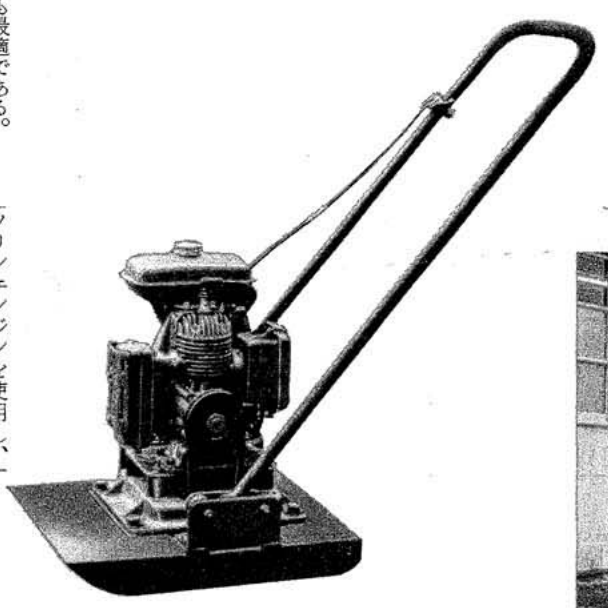
(4)エアクリーナーは特殊材を使って完全に塵埃その他の浸入を遮断してある。

(5)偏心軸受は高速六〇〇kgの遠心力がかかるため、特殊な耐熱性のグリスが封入されている。

(6)エンジン及びハンドルの防振には、特殊ラバーが取付けてある。

(7)Vベルトは延びと摩耗の少ない米国製のポリフレックスベルトを使用している。

（法面（傾面）の輾圧状況）



（モデルチェンジされた新2S型バイブロコンパクター）

（平面の輾圧状況）

仕様

型式	MVCS＝2S型
振動盤の寸法	400m/m×485m/m
機体の寸法	長さ1.155m/m×高さ495m/m
振動数	6,000V.P.M
速度	20m/min
登坂能力	40度
輾圧力	1～1.5トン
使用エンジン	メイキL1P4D、2サイクル、2PS
重量	40kg

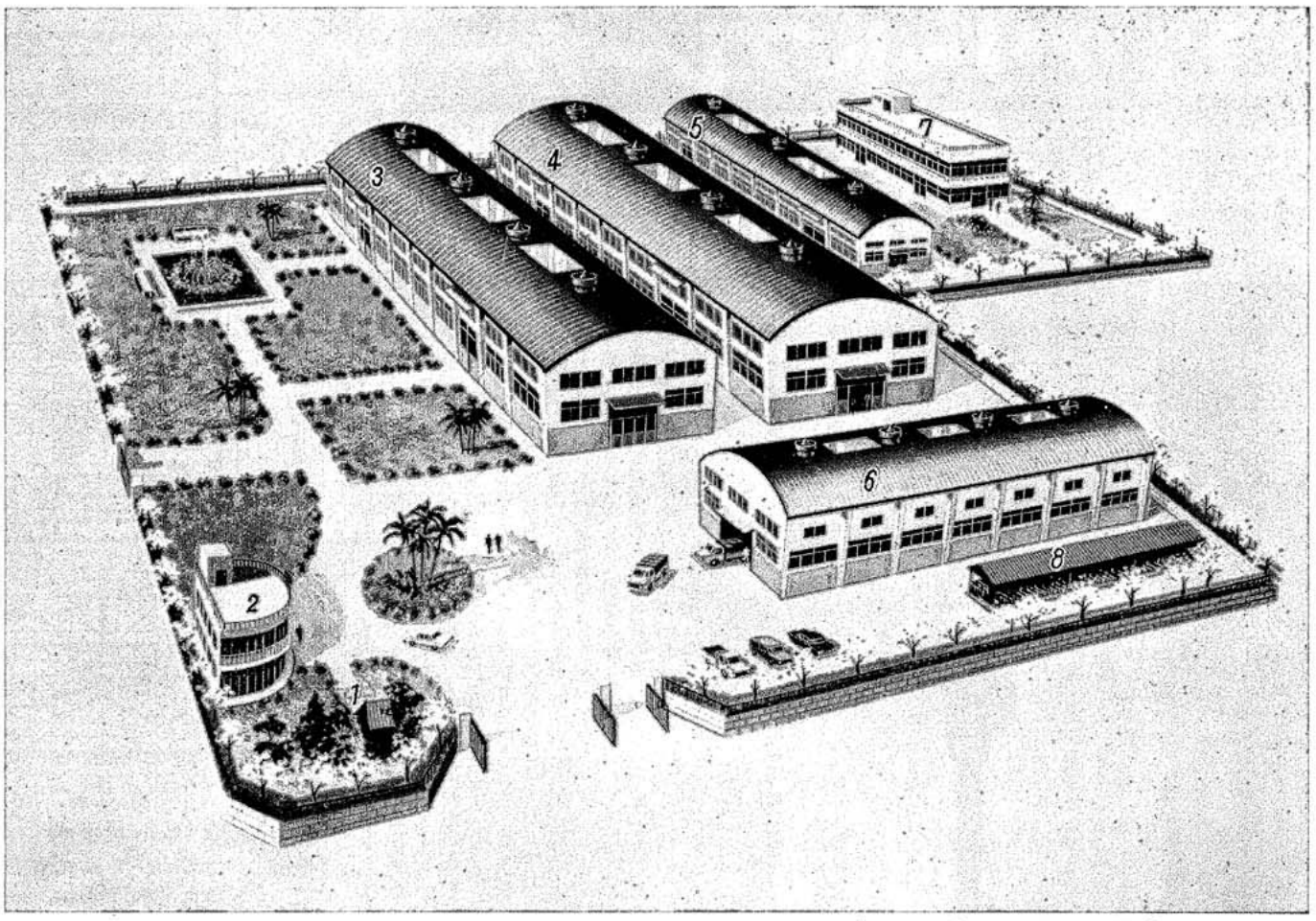
館林工場建設用新敷地決る

かねてより物色中であった。わが社館林工場の建設用新敷地は、昨年末より群馬銀行館林支店のご斡旋により、財団法人館林市開発協会所有の工業団地約一八、六八九平方米（五、六五三坪）を購入すべく交渉中のところ去る二月四日スムーズに契約が成立した。

この土地（館林市大字近藤字障子一七八番地）は、館林駅西口より約二キロの地点にあり、館林市が工場誘致のため予め整地されておいた広大な土地の一劃であって、既に昨年中に地元及び地方の数社が決まっていたようであった。

館林市には目下進行中の東北高速道のインターチェンジが架設されることに決まっているので、これが開通の暁は、おそらく工業都市として館林市が大きくクローズアップされるものと期待されている。この意味に於て、弊社が逸早くこの工業団地を入手したことは、将来の発展につながる幸先よいものとして喜こんでいる次第である。

工場は、おそらく作業の関係で移築は困難かと考えられるので、二年以内には構想図のような新築工場に生れかわるものと従業員一同今より大いに張り切っている。完成の暁は、機械設備や人員等も相当拡充しなければならないので、早くもこれが対策を練ってその万全を期している次第である。切に皆様の御支援をお願い申し上げる。



（二年後建築予定の館林工場新築構想図）

① 稲荷社 6.6m²　② 事務所 165m²　③ 機械工場 1,485m²　④ 組立工場 1,485m²
⑤ エンジン工場 660m²　⑥ 倉庫 990m²　⑦ 食堂及寮 330m²　⑧ 自転車置場 198m²

MVI－GE型
錐振型内部用エンジン盤
フレーム改造

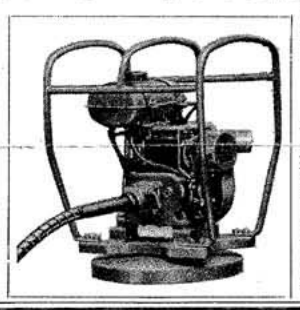
このたび錐振型バイブレーターのエンジン盤のフレームを改造致しました。

錐振型のものは、シャフトセットがエンジンに直結していて、加速装置用のトランスミッターを使用していませんのでフレームを出来るだけお取扱い易いよう設計致しました。

このフレーム装置は元来エンジンの保護を目的としたもので、このたび改造されたものは円形ですから万一過って横転させても絶対にエンジンを痛めないよう工夫されてあります。

又フレームのどこを持っても自由に持運びが出来るので大変ご便利です。

尚バイブレーターの振動筒は従来のものよりも更に振動効果を強化する為め長さを多少短かく致しました。



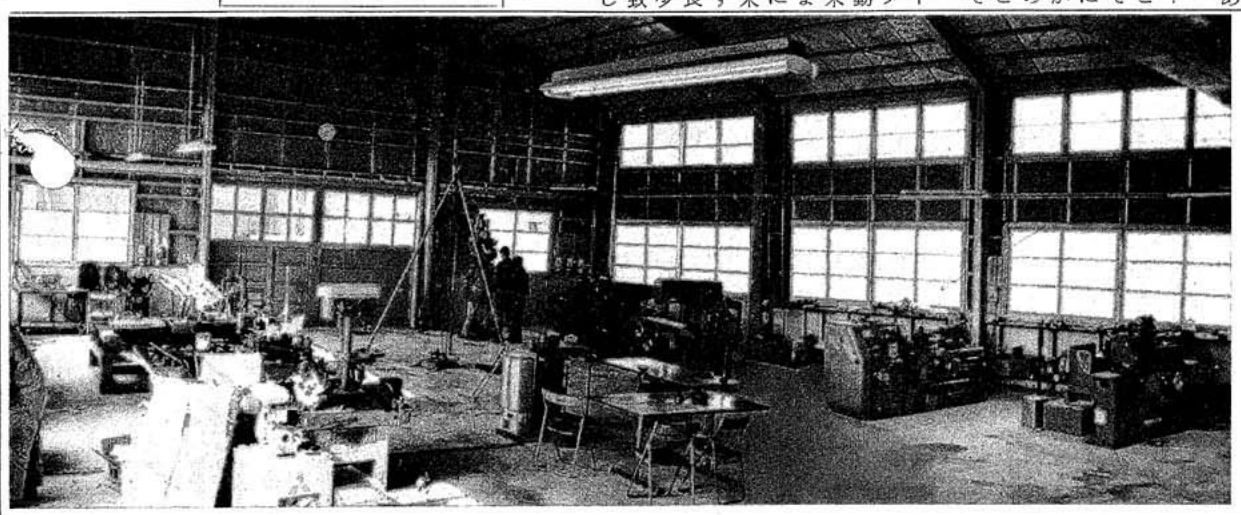
（旧型エンジン盤）

◉三笠テレビ放送再開

暫らく休んでいましたが、四月七日より、毎週月曜日夜九時五十六分から⑫チャンネル「ポケット演芸」で再びコマーシャル放送開始することになりました。是非御高覧を

技術研究所
機械設備完了

昨年の十一月二十四日に建物が落成してから、鋭意内部の機械設備を急いでいた三笠技術研究所では、その後発注機械も順調に納入されて十二月末には殆どの諸設備を完了した。現在旋盤、シェーパー、フライス盤、研削盤、ボール盤、研磨盤等の外、電気溶接機、エアコンプレッサー、硬度計、オシログラフ、制御器、振幅測定器、輾圧測定器などが盛んに稼動中である。今回開発された四十四年度の新製品となる油圧式コンクリートブレーカーは、この研究所の一号機として誕生したもので、研究員一同大張切りでその完成を期している。



（三笠技術研究所内機械設備の一部）

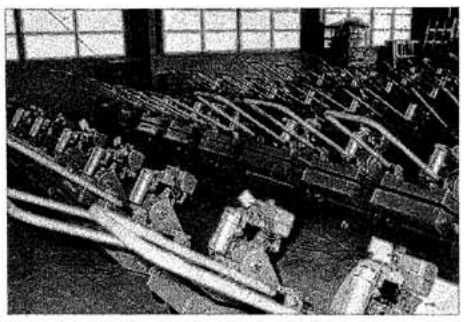
技術研究所のスタッフ　向って左より小林館林工場長、吉田所長、丸山技術員、長谷川春日部工場長、浅野主任、榎本技術員、磯部課長（コンクリートブレーカーを囲んで）

韓国向バイブロコンパクターの輸出契約成る

今回対韓建設機械の輸出契約が日商岩井(株)と在日韓国使節団との間で成立するに至った。これらの機械は京釜高速道路建設の為に使用されることを目的とした買付けである。

従来から韓国に対しては隣接国にあたる日本の各メーカー共民間ベースに依る取引を活発に行なって来た。このような関係もあって各社共相当の輸出実績をもっているだけに今回のこの買付けに対しては自社製品に対する活発な売込み戦を演じたようだった。然し幸にも、弊社はこのきびしい各社との競合にもかかわらず、性能、品質、納入実績等あらゆる面に於いて比較検討が行なわれた結果、最優秀機として高く評価され、この程MVCS－3A型バイブロコンパクター四十八台の契約に成功し、三月中に横浜港より韓国に向け船積される取引を活発に行なって来た。このような関係もあって各社共相当の輸出実績をもっているだけに今回のこの買付けに対しては自社製品に対する活発な売込み戦を演じたようだった。然し幸にも、弊社はこのきびしい各社との競合にもかかわらず、性能、品質、納入実績等あらゆる面に於いて比較検討が行なわれた結果、最優秀機として高く評価され、この程MVCS－3A型バイブロコンパクター四十八台の契約に成功し、三月中に横浜港より韓国に向け船積される取引を活発に行なって来た。このような関係もあって各社共相当の輸出実績をもっているだけに今回のこの買付けに対しては自社製品に対する活発な売込み戦を演じたようだった。然し幸にも、弊社はこのきびしい各社との競合にもかかわらず、性能、品質、納入実績等あらゆる面に於いて比同国の産業及び経済発展に大きな貢献を成すこととなろう。

今回このように買付けられた日本の各種建設機械は韓国の国土復興建設の強力な推進力として使用され、



（完成間近なMVCS－3A型バイブロコンパクターの偉容）

交通事故防止講習会

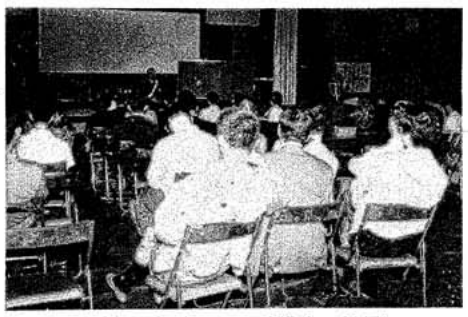
（昭和43年12月18日　本社会議室にて）

最近モータリゼーションの発展に伴い、市街地は劇しい自動車の洪水で運転者歩行者を問わず極めて危険な状態にさらされ、毎日のテレビや新聞紙上を賑わしている。従って各管轄の警察交通部の方々の御苦労も並々ならぬものがあるとお察し申し上げる。そこでこれらを解決するには運転する人、歩く人夫々が基本通りの交通規則を守って貰う以外にこれを防止する方法はないと思う。

幸い我が社に於ては運転者も歩行者も過去三ヵ年無事故記録を保持して来たので、この上共お互に心をゆるめず、更に最近の交通問題を再認識して貰うために全社員を対象に神田警察署並びに交通安全協会の御協力により当社会議室に於て講習会を開催することになった。

講習に先だち、スライドに依る生々しい事故現場を見せつけられたのには、今更ながら交通事故の恐ろしさを身近に感じさせられた。御熱心な講師諸氏の意義深いお話に、遠慮のない質問が矢継早に飛び出したが、田原係長、立田係員のてきぱきとしたお答えにすっかり感激して非常に実のある講習会が実施出来たことは主催者として大いに満足とするところであった。交通部にとって丁度師走という一番いそがしい時期であったにもかかわらず我が社の為に講習会を開いて下さった神田警察署交通部を始め本日の講師であった田原係長、立田係員に紙上から御礼申しあげると共に切角のこの講習が無意味にならないよう全社員一丸となって交通事故防止のために努力することをお契いする。

—松下報—



（本社会議室にて受講中の社員）

三笠代理店会

西部地区
五月十三日(火)
十四日(水)
会場　京都(京大和)
大阪展見学

東部地区
五月二十三日(金)
二十四日(土)
会場　伊豆長岡(三養荘)
沼津片岡屋代理店にて新製品実演

オーストラリア出張記

オーストラリア、ニュージーランドと相い次いで代理店が決まったので、その挨拶と、現地に於ける三笠製品の評価並に現地製品及外国製品の普及進出状況を視察するため去る十一月二十七日東京国際空港を出発、深夜の大平洋上を南下、途中マニラに寄港小憩の後一路メルボルンに向う。二十八日一時二十分、シドニーを経て、メルボルン空港へ到着。

こちらに到着して先づ感じたことは、東南アジアその他の国々に比べて日本人の姿はおろか、東洋人、黒人の姿も全く見かけず殆どが白人であり、彼等の話す英語が極めて聞きとりにくいので、到着草々言葉にまごつく。

二十九日、安宅産業佐川氏の案内で現地代理店コーツ本社を訪問する。

ゼネラルマネジャーローウィ氏他全重役と逢い、日、豪両国の一般的な経済状況に就いての意見交換と、三笠、コーツ両社の歴史や発展経過等を中心に懇談後、メルボルン滞在中の日程を打ち合わせた後、工場へ案内して貰う。

（コーツ社本社前にて　左よりスミス氏、ローウイ氏、筆者）

工場は本社と同一敷地内にあり約三万平方メートル程のものであろうか、製造の中心はバイブレーションローラーで、小型のものから大型の被索引式のものまでも生産している模様であった。

コーツ社の三笠タンピングランマーに対する販売活動は、発売後僅か数ヵ月に過ぎないが、全国各地の支社、出張所等の活発な動きと共に既に、数百台にも及ぶ販売実績を挙げている。

三十日、休日なので、佐川氏の案内でオーストラリアの自然を訪ねてフイリップ島へ行く。

フイリップ島はメルボルンから南東へ約百五十キロ離れた日本の小豆島程の大きさで自動車で片道約二時間半かかる。島は美しい大吊橋で本土とつながっている。近年コアラの保護区域として、又ペンギンの繁殖地として、オーストラリア随一の可愛らしい観光の名所となり、他にアザラシやマットンバードの群れなど、文字通りの自然公園として市民の間にこよなく楽しまれている。

（このような道がフィリップ島へ続く）

島に渡ってまもなく道路の上へユーカリ樹の枝が垂れ下っている小さな森に入る。自動車を降りて高い巨樹の上を見上げると、あちこちの木の股にコアラがきょとんとした顔でつかまって、ものぐさそうに私たちを見おろしている。この附近の道路のかたわらには「コアラ道路、要注意」という木の立札を随所に見かける。コアラはオーストラリアの楽しい「生きもの」の代表者で、いわばフイリップ島の入口でわれわれを歓迎してくれる最初のホステスでもある。

（コアラのいるユーカリ樹の下で佐川氏）

途中の道路は全部アスファルト舗装である。田舎の道路を相当の距離走った訳だが、どこへ行っても日本の様に舗装面が波をうったりへこんだりした箇所は殆どなかった。側溝が無いので大雨が降ると道路に水があふれる様になるとのことだが、路床や路盤に特別な施行がされているようにも見えなかった。恐らくは地盤が堅くしっかりしているからであろうと思われる。

道路用の建設機械はいたるところで見掛けたが日本製のものは見当らなかった。

たまたま、羊の群れが道路の左右の草原に遊戯していたのが印象的だった。

十二月一日、セールスマネジャースミス氏の家庭でバーベキューパーティをするからと招待される。都心より五十キロ程離れた海岸近くの高級住宅地マウントエライザにあり約一エーカー（千二百坪）の土地、広い芝生の庭、廻りを囲む高い樹々など、まことに静かなのんびりとした家庭環境下に初夏のような陽を浴びながら御馳走になる。

二日、フランクストン市はメルボルンの郊外都市で都心より五十キロ程離れた住宅地でもあり兼別荘地でもある。最近80型ランマーが数台納入されたと言うので市役所の土木課を訪ねる。道路舗修車に積んで修理箇所を巡回しながら、路盤の締固めとアスファルトの表層仕上げに使用しているとのこと。その整備工場を訪ねて意見を聴く、三カ月前にドイツ製と実演比較して購入したが、今日までノートラブルで極めて順調に稼動していると喜んで下さる。そこからメルボルン郊外の各所に転在している三笠ランマーの使用現場を訪ねて廻ったが何処でも極めて評判が良い。

（三笠ランマーの活躍する）（メルボルン郊外の現場で）

ハイウェイ工事は、どこへ行っても実に盛んである。建築工事は二、三十階の高層だが、比較的柱が細くカーテンウォール構造で柱と床しかなく、外壁は全部プレキャストのコンクリート製のものをクレーンで吊り上げて取りつけている。

想像以上に建設工事が盛んでどんどん都心には新しいビルが立ち、郊外にも工場が続々と立ち並んでゆくさまは正に活気に溢れて建国百九十年というこの国の若さと日々に変貌する時代の象徴を見る思いがする。

これらに使用されている機械はキャタピラー、インターP&H、ユークリッド、ケース等の米国製、ハノマーグ独、フイアット伊、ブローノックス、ピット英等々世界中の機械が活躍している。

（メルボルンのホテルから）（建築現場を望む）

コーツのローラー、キャタピラーのブルドーザー、フイアットのトラクター等々日、豪、米、独、伊と入り乱れて、さながら国際見本市の観を想わすものがある。併しながら目新らしい機械はどこにも見当らなかった。

四日朝、佐川氏とメルボルンを発ち十一時アデレード空港着コーツ社アデレード支社長ボーウイ氏とベバン氏の出迎えを受ける。ここアデレードでも、来るべき五百人乗ジャンボジェット機の飛来に備えて空港の大拡張を行なっていた。

我々がジェット機から降りて行くと、空港ターミナルのすぐ前のエプロンの一部で、一二〇型ランマーが活躍しているではないか、既に数多くの三笠ランマーがこの地へ送られて来ているとは言え、ジェット機から降り立った目の前で、自社の機械が異国の地面を力強く輾圧しているさまを目の当り見た瞬間、何とも言えない感動に胸の中が熱くなった。

尚滑走路の延長工事の現場でも一二〇型が盛んに使用されて、ソイルセメントうち。メルボルン空港にて八日間色々と御世話になった佐川氏と感謝のうちにお別れする。

（アデレード空港にて使用中の三笠ランマーを見る）

（三笠ランマーによる滑走路の延長工事）

六日、コーツ社よりのセールスエンジニヤーバンデンバーグ氏の出迎えでシドニー新支社を訪ね、支社長パンネル氏と逢う。

ここでも空港と都心を結ぶ高速道路の満足しており、故障は全くないとのこと、タンピングランマーは先月入荷のものは即日売れ切れ追加オーダーを出したとの嬉しいニュースを聞く、バイブロコンパクター、ハンドカッター等、三笠の全製品に興味を示して是非扱いたいからと即刻本社に電話する程の熱の入れようであった。

十一日、オークランドよりニュージーランド航空にてウエリントンへ飛ぶ、空港にてリチャード・マッケーブ社のマネージングディレクタークリステー氏と先ごろ訪日されたブラッドショウ氏の出迎えを受け、市の中心地にある本社へ向い、直ちに要談に入る。

先に送ったランマーの評判についてはオークランドで聞いたと同様で大変喜こんでくれた。競合メーカーのW社が現在迄は殆どの需要を占めていたが、三笠の進出により今後が大いに楽しめるとのことであった。

またバイブレータ

（三笠ランマーによるシドニーの道路工事）

夕刻、安宅産業シドニー支店を訪問し、佐井支店長、藪次長に現在迄の御協力と御努力に深い謝意を表し、今後共一層の御援助をお願いする。

その夜シドニーに於ける最高層ビルの回転式レストランで、パンネル夫妻、ヴアンデンバーグ夫妻と食事を共にする。

八日、パンネル氏の案内で、御家族と共に目下建築中の世界的に話題を呼んでいるオペラハウスを見る。この建物は、貝殻状の奇妙な屋根を持ち総てプレキャストコンクリート製の器材を組み合せて作っている十数年前から工事を初めたが何時になったら完成するやら判らない由、それでも現在のところ大体外見だけは出来上ったように見える。

十日、シドニー発のカンタス航空にてニュージーランドに飛ぶ、所要時間二時間半、空港にて日綿オークランド駐在事務所の矢島所長、ルーカス氏の出迎えを受け、早速現地代理店リチャード・マッケーブ社支店を訪問、マネジャーカブレン氏と逢い、こちらの現況をきく、現在販売している三笠の錐振型バイブレーターは非常に性能が良く充分満足しており、故障は全くないとのこと、タンピングランマーは先月入荷のものは即日売れ切れ追加オーダーを出したとの嬉しいニュースを聞く、バイブロコンパクター、ハンドカッター等、三笠の全製品に興味を示して是非扱いたいからと即刻本社に電話する程の熱の入れようであった。

（サーキュラー波止場から話題のオペラハウスを望む）

（マッケーブ社オークランド支店にて、左より筆者、ルーカス氏、ガブレン氏）

十一日、オークランドよりニュージーランド航空にてウエリントンへ飛ぶ、空港にてリチャード・マッケーブ社のマネージングディレクタークリステー氏と先ごろ訪日されたブラッドショウ氏の出迎えを受け、市の中心地にある本社へ向い、直ちに要談に入る。

先に送ったランマーの評判についてはオークランドで聞いたと同様で大変喜こんでくれた。競合メーカーのW社が現在迄は殆どの需要を占めていたが、三笠の進出により今後が大いに楽しめるとのことであった。

またバイブレータはオーストラリアのフレクスツールが現地組立てを行っており他に競合するものとしてはソール、レミントン等のアメリカ製があるだけで、これも三笠のものが順次市場を拡大しつつありと言うことであった。

十二日、マッケーブ社の要請にてクライストチャーチ市まで飛ぶ、オークランド、ウエリントンは北島にあるがクライストチャーチ市は南島の中心地でニュージーランド第三の都会であり、ウエリントンよりはジェット機で約一時間かかる。

空港で工場長ブラックフォード氏と支店長ロバートソン氏の出迎えを受け工場を訪ねる。空港から市内と反対方向に十五哩程離れたところの小さな町である。製品は主として、ローラーコンベヤーで小型のものから大型の幅一米程のものまで製作している。

先日ノックダウンで輸入した三笠のバイブレーターもこの工場で組み立てたが、三笠部品の精度が高いのでスムーズに組み立てられたと喜こんでいた。

工場の見学を終えて、市内のクライストチャーチ支店に立寄り、搭乗前の一刻市内を廻る。

クライストチャーチ市は実に美しく、清らかな流れの川と、緑したたるばかりに繁った樹々の木立が街を包んでなんとも言えない古典的な美をたたえ、古い格調高い建物が良くこれに調和して、落着いた雰囲気を街全体にかもし出している。

（クライストチャーチ大学の古典的建物）

十三日、マッケーブ社会議室に全重役が集り最終的な打合せをする。

夕刻から社内で全社員の夫人同伴クリスマスパーティーが開かれ、その仕度にクリスティ氏の家へ立寄る。夫人がオードブル、カナッペ等をつくって待っておられ、それを持ってパーティーへ出る。各人が思い思いの趣向をこらした食物や飲物を持ち寄ることが習慣になっているらしい。いかにも楽しそうなにぎやかな雰囲気であった。

ニュージーランドでの用件も済んだので、パーティー中ばに別れを告げて夜七時三十分ウエリントン発のカンタス航空にて再びシドニーへ戻り、以後マニラ、香港と現地の代理店へ立寄って、東京へ帰着したのは年の瀬も押しせまった十二月二十四日であった。

終りに今回の出張に際して、色々と御配慮に預った関係商社の方々に心から御礼申し上げます。

（京谷達也）

（ホテルの窓から美しいアデレードの市街を望む）

（コーツ社アデレード支社前にて。左よりボーウイ氏、筆者、ベバン氏）

メルボルン市に於ける建設機械展で絶讃を博した三笠タンピングランマー

現在活躍しているオーストラリヤのコーツ社では、弊社の主力製品であるMTR—80型タンピングランマー及MTR—120型タンピングランマーの販売に対し積極的な売込みに努められた結果、僅か一年足らずで三〇〇台以上にもおよぶ実績を示された。

（メルボルン市に於ける建設機械展示風景）

同国に於いては毎年主要都市で建設機械の展示会が開催され、各ディラー共自社で取扱っている製品を大々的に宣伝し、ユーザーの買気をあおっている。この各都市で開かれる展示会のうちメルボルンに於いて催される道路ショーは、特に大規模なものであるだけに各社共最大の効果を上げるべく、又自社取扱製品の優秀性を認めさせるべく活発なデモンストレーションが展開されたといわれる。しかも幸にデベルコ社、ワッカー社、コックマン社、ハイネパック社等との劇しい競争のなかで、弊社製MTR—80型ランマーの優秀性が各ユーザーに認められ爆発的な人気を博して、今回の実績を見るに至ったとのことである。

（世界中で最も信頼出来るランマーと書かれて並べられてある）

今年に入ってからは益々競争も厳しくなったといわれるが、競合すればする程三笠ランマーはそのシェヤーを拡大して行くもののように思われる。

◆御結婚式は日本閣で◆

お祝辞のマナーに就て

スピーチの時間は、ひとり五分以内と心得ておきましょう。どんなにお上手でも長話は座が白けて困りものです。特に次のような言葉はお目出たい席では、忌み嫌いますから避けるように注意致しましょう。

去る、帰る、切れる、戻る、返す。離れる、飽きる、破れる、うとんずる、冷える、病む、敗れる、滅びる、死ぬ、こわれる、終り、おしまい、……等

ウエデングパレス

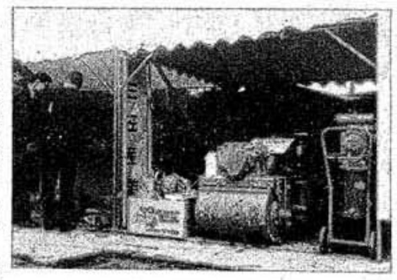
日本閣提供

国電東中野駅前(電)(三六二)八五一二

第3回建築展

自 三月十六日～至 三月十七日
主催 社団法人埼玉建築士会
場所 埼玉県立春日部工業高校 東武線北春日部駅前

埼玉建築士会主催の展示会は、毎年開催されていて県下の設計、施工業者間では、好評を博している。前回迄は、建築資材及び設計用具等が主であったが、毎回設計関係の方々だけでなく、施工業者の方々も多く来訪する為、今回より建設機械も是非出品して欲しいと、建築士会よりの御要望により初出品した訳である。



季節外れの大雪がまだ残り、北風の吹く相憎くの天候で客足も悪かったが、入場者は皆、熱心な方々ばかりで、特に、新製品のMHC－8型ハンドカッターに関する質問が多く、価格及びブレードの消耗等の点で、単価表と言った物があれば、積算資料として、設計に組入れる事も出来るのだがと言う話であった。今回は、初めてで、天候も悪かった為に入場人員は少なかったが、お客の内容は充実している為今後もどしどし、出品する事が望ましいと思われる。第四回は、八月頃、今回よりも建設機械に主きを於て行なう予定なので、今回、見逃した地元の方々は次回は是非お見逃しのない様お願いしたい。

―堀茂報―

△京谷社長宅新年祝賀会

（一月三日葉山マリーナーにて）

時は実に正確にやってくるものです。かくて今年も又正月がやって来ました。昨年の暖冬異変と違って一九六九年を迎えてにわかに寒さがきびしくなり、この日快晴に恵まれたとはいえ、東京地方は底冷えのする日でした。しかし、我が社の初顔合せの宴が催されるとあってか、ここ葉山はまことにおだやかな初春日和で恰も三笠産業の二十一世紀への前途を祝福してくれるかのようでした。

今年も社長宅へ全社員招待ということが出来ない為め例年通り主任以上が代表して社長夫妻に謹しんで祝詞を述べた後一同打揃ってお屠蘇を頂戴し、いつもお手入れの行き届いた、美しい芝生で社長夫妻を囲んで晴着姿できれいな我が社の女性達も混って、カメラにおさまり予定されているお馴みの葉山マリーナへ宴を移した。会場には、本社々員全員の他、館林工場、春日部工場の両工場長を始め桜電機㈱加藤社長、中央螺旋㈱田口社長、田摩フレックス㈱田摩社長も加って昭和四十四年の初春を祝い合った。まず社長の祝詞に始まりその挨拶の中で特に今年は「謙虚な心で根性を持って前進せられよ」とのお言葉が強く胆に銘じ心を新たにした。続いて桜電機㈱加藤社長の音頭で〃今年も健康で元気に頑張りましょう〃との合言葉を交して和やかな雰囲気のもとに祝宴が進められ顔馴みの美妓のサービスもあってか社員一同社歌や三笠行進曲を歌い合って昭和四十四年新春の祝宴会の幕は下された。

―近藤記―

（葉山マリーナーにて）

（京谷社長宅の庭にて）

恒例の三笠 箱根山新年会

（一月十一日箱根塔の沢新玉にて）

毎年、箱根の新年会は気持ちの良い日だ、私達が新年を祝うことの出来ることは、とりもなおさず会社に〃生命〃のある事であり且つそこに働く社員が新たなバイタリティを欲するが故にである。我々はこのような行事から常にこのすさまじい競争の社会の戦列に参加するエネルギーを造り、新しい闘志を得て新風を吹きこもうとしているのである。

本年は一月十一日(土)から十二日(日)にかけて箱根塔ノ沢、新玉旅館に本社全社員、そして各工場長、各顧問の諸先生と共に会した。総勢六十名ともなると多少せまいきらいはあるが、そこは例年の事でせまいながらも楽しい我家という雰囲気の場所でもあった。

（成人代表堀江茂生君へ京谷社長より記念品を贈呈）

（珍ゲームに興ずる男女社員達）

宴に先だって本社員で今年「成人の日」を迎える社員が九名あり、この若い人たちに京谷社長よりお祝いの言葉と記念品の贈呈があり、同時に諸先輩社員より「おめでとう」の言葉が送られた。そして「成人の日」を迎える社員代表として東販二課堀江茂生君より新しい力で大人としてますます社会の為に役立ちたいという誓いの答辞があり一足早く三笠の成人式を終えた。

尚この日昨年一年間の皆勤賞、準皆勤賞がそれぞれの方にその労に対するねぎらいの言葉と記念品が社長から贈呈された。このようにこの日の行事は大変もりたくさんでこの外にこれも恒例の三笠名物の珍ゲーム大会がありその賞品も全員に行きわたるよう豊富に用意されていて皆んな無礼講で杯をかたむけながらゲームを楽しみ、果ては和やかに議論をたたかわせ、夜のふけるのも忘れての楽しい一夜であった。

今年の我社のモットーとする「根性」という言葉をあげて、いかにこの言葉の持つ意味を表現するかそれぞれの解釈に於て論議をたたかわし、社員一同一人一人が「根性」を持って行こうと固く誓い合った。

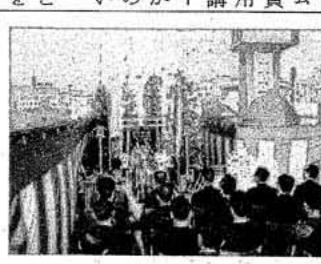
何はともあれ商売の上での社会は、日々に進歩し複雑になる。それだけにこのように全社員が一堂に会して、お互いの気持ちを知り合う事の重要性を痛感する。我社も年々歳々売り上げを延ばしつつあるが、更により以上の業績を挙げるには、三笠の全社員があらゆる問題に関心をもって本日の会に結びつけて呉れたことにより、この箱根の山の会を楽しく有意義に終らせることが出来た。

（幹事）―長畑報―

本社初午祭

四十四年度恒例の三笠初午祭は、二月十二日午後四時[illegible]神から朝永神官を招い[illegible]厳そかに取り行なわれた。取引銀行である、群馬、三菱、住友の各支店長さんを始め、中央螺旋管、田摩フレックスの各社長、我社からは社長以下一人の欠席者もなく全員出席し、総勢百人近くの人々が今年の商売繁盛と家内安全を祈念した。近年初午祭の行事も巷では庶民の祭事から遠のきつつあり、ずいぶんとさみしくなって来たようだ。今年は特に快晴に恵まれ神官の奏ずる祝詞も一段と心のひきしまる思いがした。式典終了後、社長室と会議室との間仕切を取り外した広々とした会場内で、全社員と招待者が一緒になって大祝宴会が開かれ足の踏場もない混雑の中で稲荷講の夜は和やかに過ぎて行った。途中、七時頃から課長以上の案内で、招待者を「生稲」の二次会にお連れして、夜の更くるまで楽しく酒杯を重ねながら歓談に花を咲かせた。

―中島報―



（屋上にて初午祭執行）

（四階会場に於ける祝宴）

"昭和44年度"

建設機械展示会

主催　日本建設機械化協会

【開催予定日】

5月10日～18日	大阪市
6月3日～9日	新潟市
8月1日～10日	東京都
9月中	仙台市
10月中	福岡市

▽館林工場初午祭△

館林工場恒例の初午祭は、二月十二日午後三時半より工場前庭の稲荷社の前で、尾曳稲荷の田島神官を招いて、多数招待者及び全従業員参列のもとにいとも厳そかに挙行された。

当日は例年にない好天に恵まれ、暖かな春風にはためく奉納旗の紅白があざやかに映える中に、本社から社長の名代として出席の京谷専務初め小林工場長以下従業員一同心から社業の繁栄と社内の安全を祈願してとどこおりなく初午祭の式は終った。

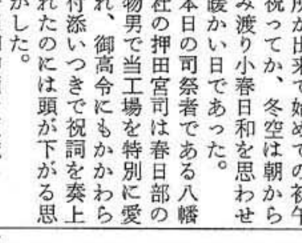
終了後、全員席を工場内の社員食堂にうつして、盛大なる祝宴を開いた。開宴に先だち、京谷専務から会社の原動力としての生産部門の重責を担う工場従業員の方々の健闘と努力に対して賛辞と謝意の表明があり、続いて小林工場長より、創業時代から終始変りない地元各界の方々による御援助と御協力に対して深い感謝の気持を披歴したあいさつの後、大越館林商工会議所会頭から、年々成長を続ける三笠に対する賞讃と激励の御祝辞を頂き、正田卯平氏の音頭で、乾杯のあと一同祝宴に入った。やがて飲むほどに酔うほどに話しがはずみ、歌など飛び出して、一同早春の夜を心ゆくまで楽しく過すことが出来た。

▽春日部工場初午祭△

二月十二日夕刻より恒例の初午祭が[illegible]議会議員、取引銀[illegible]協力工場の方々をお招きしていとも賑やかに取り行なわれた。例年の初午祭は寒さにふるえて氷つくような日が多かったが今年は春日部に技術研究所が出来て始めての初午を祝ってか、冬空は朝から澄み渡り小春日和を思わせる暖かい日であった。

本日の司祭者である八幡神社の押田宮司は春日部の名物男で当工場を特別に愛され、御高令にもかかわらず付添いつきで祝詞を奏上されたのには頭が下がる思いがした。

一同御神酒を頂戴して引続き、工場の食堂に集まっていただき、佐藤機械佐藤社長の音頭で乾杯し、割烹「甲子」から差廻しの、美妓連のサービスにすっかり打ちくつろいで、七時頃散会した。本社からは社長の名代として吉田常務が参列した。



○住所名称変更のお知らせ!!

四月一日から弊社の住所名称が左記のように変更されましたので甚だごめんどうながらお手許の住所録をご訂正下さるようお願い致します。

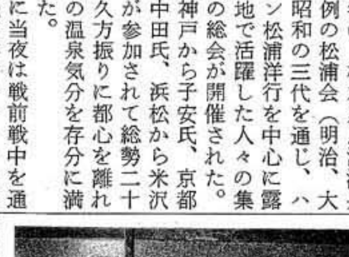
新住所　東京都千代田区猿楽町一丁目四番三号
郵便番号　一〇一
旧住所　東京都千代田区神田猿楽町一丁目七番地

□松浦会総会

（二月二十四日川治温泉一柳閣にて）

今年は、栃木県川治温泉に恒例の松浦会（明治、大正、昭和の三代を通じ、ハルピン松浦洋行を中心に露満各地で活躍した人々の集り）の総会が開催された。遠く神戸から子安氏、京都から中田氏、浜松から米沢氏等が参加されて総勢二十名、久方振りに都心を離れて雪の温泉気分を存分に満喫した。

特に当夜は戦前戦中を通じ、松浦洋行チチハル支店長として活躍された大貫老夫妻がかくしゃくとしたお姿で佐野市から参加されたので、一入懐旧談に花が咲いて一同を感激させた。



漸く花のつぼみもふくらんで旅に出る機会も多くなって参りました。お互に車中でのエチケットを守って楽しい旅に致しましょう。

一、お酒を飲みすぎて車内を汚したり他人の迷惑になる行動を慎しみましょう。

一、車内での屑類はまとめて坐席の下に置き、通路を通る人の邪魔にならない様に致しましょう。特にグループや団体で旅行する場合には纒めてダンボールなどに入れて片付けるよう幹事さんの御配慮をお願い致しましょう。

（旅行の御計画は皆様の手足となってお世話するダイヤモンド観光を）

横浜市中区福富町仲通り二八
TEL 045（261）4486（代）

三笠産業俳句

穂波選

東京　石川ひろし
この径は海につながりひばり啼く

館林　長谷川金雄
初午の酒に神官多弁なり
生活の音を鎮めて夜の雪

横浜　村松みね代
垣越しにやりとりするや菊根分け
石段に蟻を見つけし彼岸かな

横浜　神吉　煙村
蓑虫は風に吹かれて梅盛り
子育てに追われオーバーやゝ長し
頼り合う心清がしく年迎う

横浜　加藤　京女
稚子は脊にあお向き眠り暖かし
梅匂う隣家明るく更けている
求むもの遠く及ばず冴え返へる
二ン月は無表情なり鳥も来ず

館林　長谷川金雄
春光はあふれ少女の胸豊か

（評）清方か深水の絵でも見ているような感じがして何か強くひきつけられるものがある。いま、この少女は何をしているのか、もっとつっこんで、作者から聞きだして見たいような気がする。

選後吟
クラウン車に子はよく眠り畑を打つ
菜の花の一劃残し団地建つ
揚ひばり新家の嫁の顔見てこ

次号俳句募集

当季雑詠　1人　5句以内
用　紙　ハガキ又は便箋縦書
締　切　6月25日
社外からの投稿歓迎
評句には薄謝を呈す